

みんなの知らないアンモナイトの世界

くまもと県民カレッジ
 <パレアミュージアム>
 日時;令和元年10月29日(火)
 14:00~15:30
 場所;パレア会議室7



わたしは岡山県倉敷市に生まれ、幼い頃から、ジュラシックパークや近所のカプトガニ博物館で恐竜に興味をもち、「化石に関わる仕事をしたい」と思うようになりました!



熱心に講義を聴く受講生の皆さん

天草市立御所浦白亜紀資料館
 学芸員 香取 祥人氏

御所浦ってどんな所?
 恐竜の島! 化石の島!



アンモナイトは多種多様!!

(アンモナイトは欧州/北米/南米/南極など世界中に1万種以上生息し、白亜紀末に絶滅した。)

アンモナイトってどんな意味?

アンモナイトは英語でアンモン(古代エジプトの太陽神)とアイト(石の意味)に分けられ、アンモンは頭に渦を巻いた角を持ちその形が化石と似ているためアンモナイトになった。日本/中国では「菊石」、別名「蛇石」(欧州)、「かぼちや石」(北海道)ともいう。

身体づくりは!

足は何本! 生きていたのを誰も見たことがないので良くわかっていないがイカ、タコなど同様8~10本と思われる。

アンモナイトは、巻いた殻のなかにイカやタコのような軟体動物が入っていた!



からだの大きさは?

数cmから最大2m超(通常10数cmから数10cm)
 世界最大のアンモナイト化石(パラプソシア・セップランラダンス)

なぜ絶滅したか?

赤ちゃんの身体が1mm以下と小さく、巨大隕石の衝突による地球全体の環境の激変に耐えられなかったため絶滅した。

知っていますか! アンモナイトのいろんなこと!

正常巻きと異常巻き



正常巻き(=平巻き) 殻が規則正しく平らに巻いている。巻きが緩いか密か/表面がツルツルかトゲトゲか/殻が厚いか薄いかなど色々な種類がある。

異常巻き



異常巻き → 遺伝子異常ではなく、このおかしな形状が「正常」で様々な形状がある。

示準化石としてのアンモナイト

中生代(恐竜時代)の時代決定に用いられる

※示準化石; その化石の含まれる地層が堆積した地質時代を示す化石

アンモナイトは泳いでいた!

アンモナイトは浅い海から水深数百mの深海まで幅広く生息。正常巻きは表~中層で遊泳し、異常巻きは重心が不安定で遊泳に不向きで海底近くで生息していたと考えられる。

アンモナイトは宝石!

(殻の層の中の真珠層が残っている)
 虹色のアンモナイト → アンモライト!

琥珀になったアンモナイト!

約1億年前のミャンマーの地層から発見。樹脂に覆われ化石化し非常に珍しい琥珀になった。

最後はみんなで本物のアンモナイトの化石に触れました!

今回はこれまで知らなかったアンモナイトについての専門的知見を含めたいろんな話が紹介され、先生の情熱が直に伝わってくるようなホットな講義でした。最後に、本物の化石に触れることができ、笑顔で終了しました。ご協力有難うございました。(広報ボランティア H. K)

